

科目名 Course Name	生活支援技術Ⅱ Independent Living Skills Ⅱ				ナンバリング No.	J1-008	
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡先(質問等)	福祉棟 2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは火～金曜日の授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程 必修)						
関連 DP	DP2						
授業の概要と 到達目標	<p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 日常生活の基本行動となる移動の意義や目的、利用者のアセスメントについて学習し、移動が障害されることによる影響を理解する。そして、利用者の状況に応じた、安全で的確な移乗、移動技術を習得する。また、適切な福祉用具の活用により、生活領域の拡大および自立に向けた介護について考えていく。</p> <p><b>【到達目標】</b> ①日常生活における移動の意義を理解し、障害されていることの不自由さを説明できるようにする。 ②基本的な移乗・移動技術を習得できるようにする。 ③移動に関するアセスメントを説明できるようにする。 ④自立支援に向けた福祉用具を適切に選択し活用できるようにする。</p>						
授業の方法	演習科目であるが講義も併用する。講義で知識を学び、演習を通して技術の習得を行う。利用者役、介護者役を体験しながら実技を学んでいくが、単に手順を覚えることに集中するのではなく、一つ一つの介護の根拠を考えながら実践していく。また、利用者の立場から介護を受けとめ、より良い方法を考えていく機会としたい。						
学習成果	L01	日常生活における移動の重要性を説明することができる。					
	L02	移動に関する基本的な技術を習得し、福祉用具の適切な活用により、日常生活の拡大を図ることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	レポートはコメント記入・評価後学生に返却、小テストは実技実施後の振り返り点等を記載し返却、平常試験は試験後に模範解答を示す。						
教科書/ 参考図書	①教科書:最新・介護福祉士養成講座 第6巻「生活支援技術Ⅰ」 中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル						
履修上の留意点 やルール等	<p>●講義・演習とも積極的に取り組み、演習時は身だしなみを整えること。また、自己練習をし、技術の向上に努めること。小テストについては、他科目との兼ね合いから、変更することがある。やむを得ず欠席する場合は必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。クォーター科目の後半であり、「ここからだのしくみⅠ」終了後から始まる。</p> <p>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</p>						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	マニュアルを活用し自主的にメモしている。演習時は身じたくを整え、積極的・自主的に参加している。指導を受け入れ技術を習得しようと努力する姿勢がみられる。	20			
レポート/作品	①安楽な体位(生活支援技術マニュアル P147) S:資料をもとに具体的にまとめている。②演習の振り返り(生活支援技術マニュアル P145) S:演習内容を踏まえ、利用者役、介護者役両面からの学びを記述している。(各 10%)		20		

発表					
小テスト	技術の確認として、第 12 回目に「車いすへの移乗」の実技テストを行う。 マニュアルに沿って安全や根拠に基づいて手順が実施できること。		20		
試験	移動の意義と目的、移動・移乗における介護技術の基本的視点、安楽な体位・移動・移乗における介護技術、道具・用具の活用方法、他職種 の役割と協働について理解できている。		40		
その他					
<b>合 計</b>			20	80	
<b>回数</b>		<b>授業計画</b>			
1	<b>授業内容</b>	ガイダンス 日常生活における移乗・移動の意義と目的【講義】			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト P82～P93 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
2	<b>授業内容</b>	自立に向けた移動の介護の技法① 基本体位、良肢位【演習】			
	<b>事前・事後学習</b>	自宅で 15 分間動かない姿勢であおむけに寝て、苦痛を感じた部分を挙げる。			
3	<b>授業内容</b>	自立に向けた移動の介護の技法② 安楽な体位【演習】 (レポート① 提出:第 4 回目)			
	<b>事前・事後学習</b>	レポート作成。			
4	<b>授業内容</b>	自立に向けた移動の介護の技法③ ボディメカニクス、上方移動と水平移動、 体位変換、端座位 その 1【演習】			
	<b>事前・事後学習</b>	自身の日常生活の中の動作で、ボディメカニクスを活用していると思われる動作を挙げる。			
5	<b>授業内容</b>	自立に向けた移動の介護の技法④ 上方移動と水平移動、体位変換、端座位 その 2【演習】			
	<b>事前・事後学習</b>	生活支援技術マニュアル P20～P24 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
6	<b>授業内容</b>	自立に向けた移動の介護の技法⑤ 端座位、移乗 一部介助・全介助 (車いす、ストレッチャー) その 1【演習】			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト P131 の車いすの構造の図を書き写す。			
7	<b>授業内容</b>	自立に向けた移動の介護の技法⑥ 端座位、移乗 (車いす、ストレッチャー) その 2【演習】			
	<b>事前・事後学習</b>	生活支援技術マニュアル P25～P29 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
8	<b>授業内容</b>	自立に向けた移動の介護の技法⑦ 車いす【演習】(レポート② 下部のみ記入)			
	<b>事前・事後学習</b>	レポート記入。			
9	<b>授業内容</b>	自立に向けた移動の介護の技法⑧ 歩行補助具による介助の実際(杖、歩行器等) 【演習】			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト P163～P168 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
10	<b>授業内容</b>	自立に向けた移動の介護の技法⑨ 片麻痺体験【演習】 (レポート② 提出:第 11 回目)			
	<b>事前・事後学習</b>	レポート作成。			
11	<b>授業内容</b>	移乗・移動の技術に関するまとめ【演習】			
	<b>事前・事後学習</b>	実技試験の練習。			
12	<b>授業内容</b>	移乗・移動に関する生活支援技術習得の確認・振り返り 小テスト【実技試験】			
	<b>事前・事後学習</b>	実技の自己評価表をチェックする。			
13	<b>授業内容</b>	褥瘡とその予防 同一体位による弊害、褥瘡の原因と予防【講義】			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト P121 の褥瘡の好発部位の図を書き写す。			
14	<b>授業内容</b>	移乗・移動に関するアセスメント【講義】			
	<b>事前・事後学習</b>	サルコペニア、フレイルを調べる。			
15	<b>授業内容</b>	まとめ、他職種との連携、福祉用具の意義と活用、生活領域を拡大するための工夫 【講義】			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト P187～P190 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			